

平成29年度 医療事故等発生件数

[平成29年4月1日～平成30年3月31日]

レベル	件数	代表的事例と対応策
0 及び 1	382 件	<p>転倒転落(215 件) フロアーセンサーマットの上で座り込んでいるところを発見する。 【対応策】 両手でベッド柵を持って立ち上がれるように環境調整を行う。 足元のフロアーセンサーマットの上に滑り止めマットを設置する。</p> <hr/> <p>与薬(38 件) 朝食後と夕食後に1錠ずつの指示を夕食後に2錠配薬を行った。 【対応策】 指示内容を看護師2人で指差し、声出しをして確認していく。</p> <p>注射(17 件) インスリンの変更指示を見落とし、変更前のインスリンの単位を注射した。 【対応策】 指示簿の確認を看護師2人で行う。指示簿の変更方法について医師に説明を行った。</p> <p>輸液(10 件) 転院受け入れ患者の輸液セットを交換しなかったため、指示通り滴下しなかった。以前、そのような事例があったが忘れていた。 【対応策】 輸液ポンプ使用時は、輸液セットを交換することを周知徹底する。</p> <p>検査(30 件) 点滴開始負担後採血を行う検査を、点滴終了後採血を行った。 【対応策】 検査の内容についてわからないときは、医師に確認を行い実施していく。</p> <p>その他(72 件) MRIの検査室に入室後、心電図モニターを送信機を装着中であることに気がついた。 【対応策】 患者と共に、チェック用紙を用いて金属類を身につけていないか確認していく。</p>
2	17 件	<p>移動介助時の打撲 リハビリ終了後、車椅子からベッドへ全介助で移乗する際、下肢が車椅子に接触し、切創があり出血した。 【対応策】 ベッドの高さを調節し、移乗しやすい環境を整える。 皮膚の観察や病衣の確認を行い、注意を払いながら移乗を行う。</p>
3	18 件	<p>職員の針刺等 5 件、転倒転落による骨折等 9 件、透析患者の体重測定ミス・カテーテル抜去等 3 件、気管カニューレの閉塞 1 件 スケールストレッチャーで体重測定を行った。器械に不慣れであった。 【対応策】 器械の取り扱いに慣れたスタッフと一緒に確認をする。 違う器械で再測定を行う。</p>
4	0	該当なし
5	0	該当なし